

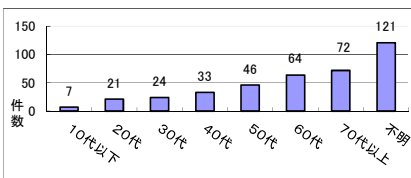
# 令和元年5月分の消費生活相談の概況

- 5月の相談件数は、388件で〈表1〉のとおりです。前年同月(420件)と比べ、32件の減少です。
- 総相談件数388件のうち、「不当請求」と判断される相談は116件で、前年同月(129件)と比べ、13件の減少です。
- 契約者の年代別相談件数は、〈図1〉のとおりです。70代以上が一番多く72件、以下60代64件、50代が46件、40代が33件、30代が24件、20代が21件の順です。
- 相談の多かった商品・サービスは、〈表2〉のとおりです。第1位は「商品一般」で、以下「インターネット情報」「インターネット接続回線」「工事・建築」「修理サービス」となっています。

〈表1〉

区分		総相談件数		販売購入形態別相談件数									危害・危険		不当請求	
		うち 苦情相談	店舗購入	訪問販売	通信販売	マルチ・マルチ マが	電話勧 誘販売	ネガティ ブ・オブ ション	訪問購 入	その他 無店舗	不明・無 関係	危害	危険	うち架空 請求		
5月	件数	388	374	57	21	83	8	23	2	2	1	191	3	0	116	76
	構成比 (%)	100.0	96.4	14.7	5.4	21.4	2.1	5.9	0.5	0.5	0.3	49.2	/	/	/	/
累計	件数	765	730	105	43	182	11	51	2	3	1	367	8	2	161	120
前年同月	件数	420	404	56	21	115	4	18	2	3	0	201	4	2	129	77

〈図1〉年代別相談件数



〈表2〉商品・サービス上位5品目

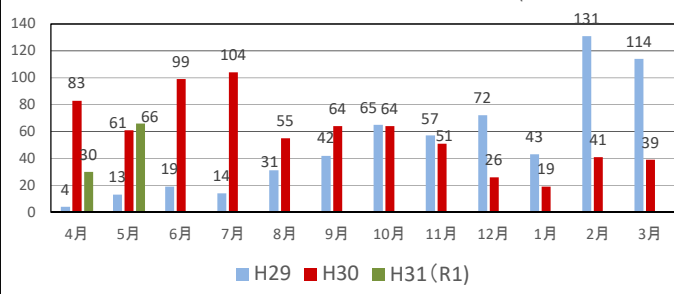
順位	商品名等	件数	主な内容
1	商品一般	91	特定できない商品(架空請求ハガキなど)
2	インターネット情報	34	アダルト情報サイト、出会い系サイトなど
3	インターネット接続回線	29	インターネット回線等の料金、サービスの内容など
4	工事・建築	11	新築・増改築工事など
5	修理サービス	10	車検サービス以外の修理・補修

## お知らせ

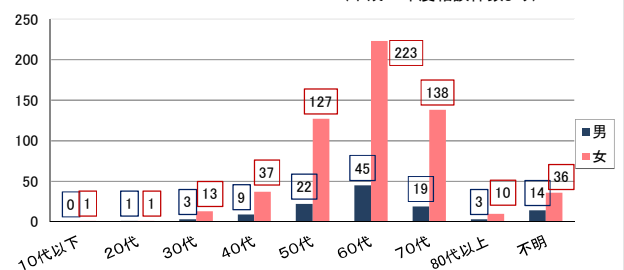
## まだまだ注意！架空請求ハガキのトラブル

- 令和元年度に入り、前年度から総相談件数は減少している中、いったんは鎮静傾向にあったハガキによる架空請求の相談件数が、増加傾向にあります(図1)
- 平成30年度に寄せられた相談件数705件のうち、契約当事者は女性が多く、約83%を占めています。また、年代別では、50代から相談件数が増加し、60代以上が約62%を占めています。この傾向は令和元年度に入っても同様です。(図2)
- 事業者が行政機関を装って「未納料金の訴訟最終告知」等と書いたハガキを消費者へ送ります。文面には「訴訟を起こす」「差し押さえをする」などと法律用語を使って不安をあおり、ハガキに記載のある連絡先に電話をかけさせようとするものです。連絡するとお金を要求されたり、電話番号等の個人情報を知られてしまったりするケースもあります。
- 実際にお金を払ってしまったなど、被害に遭ってしまった事例もあります。ハガキが届いても、身に覚えのない請求は連絡をせず、無視してください。

(図1) 架空請求はがきに関する相談件数の推移(月別)



(図2) 架空請求に関する契約当事者の年代別・性別件数  
(平成30年度相談件数より)



訴訟!?

裁判!?

困ったとき、おかしいなと思ったときは、お近くの消費生活センター・消費生活相談窓口または消費者ホットライン188番へご相談ください!

新潟県消費生活センターの来所相談は予約制です。まず、電話でご相談ください。相談電話 025-285-4196

ホームページ <http://www.pref.niigata.lg.jp/shohiseikatsu/>